

## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社プロネクサス

コード番号 7893 URL <https://www.pronexus.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上野 剛史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員社長室長 (氏名) 大和田 雅博 TEL 03-5777-3111

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（決算説明動画（録画）配信予定）

（百万円未満四捨五入）

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,390	2.2	2,651	△1.8	2,825	3.5	1,960	4.6	1,956	4.5	2,119	8.5
2020年3月期第2四半期	14,083	—	2,700	—	2,730	—	1,874	—	1,872	—	1,953	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	72.66	—
2020年3月期第2四半期	69.44	—

#### （2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,457	24,221	24,162	68.1
2020年3月期	33,049	22,506	22,451	67.9

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2021年3月期	—	17.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	15.00	32.00

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）2021年3月期第2四半期末配当金17円00銭は、普通配当15円00銭と創業90周年記念配当2円00銭の合計額です。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△1.8	2,000	△23.1	2,250	△17.6	1,550	△16.4	1,550	△16.0	57.58

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	30,716,688株	2020年3月期	30,716,688株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	3,797,321株	2020年3月期	3,797,152株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	26,919,460株	2020年3月期2Q	26,961,558株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

2021年3月期第2四半期の決算説明会につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、また現在も多くの方が在宅勤務等を実施されていると想定されることから、会場での開催は見合わせ、後日、決算に関する説明動画（録画）の配信を予定しております。決算補足説明資料につきましても、当社ウェブサイトに掲載する予定であります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P. 2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P. 2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P. 4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P. 5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書 .....	P. 5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書 .....	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書 .....	P. 8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P. 10
(継続企業の前提に関する注記) .....	P. 10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① わが国経済の状況

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期）におけるわが国経済は、世界規模で拡大した新型コロナウイルス感染症の影響が収束に至らず、企業活動や個人の消費活動において大きなマイナス影響を受けました。国内においては緊急事態宣言解除後、これまで制限を受けていた経済活動が段階的に再開されつつあるものの、国内・海外ともに感染の推移及び経済の見通しは予断を許さず、影響のさらなる長期化を想定せざるを得ない状況にあります。一方、当社事業と関連性が高い国内証券市場においては、このような状況への警戒感から緊急事態宣言発令中に下落していた日経平均株価が徐々に回復し、期初の18,000円台から23,000円台まで上昇いたしました。

#### ② 業績の概況

当第2四半期は、国内外の投資家に向けた開示・IR強化の動きが進展し、株主総会招集通知や英文翻訳サービスの売上が増加いたしました。加えて、IPO、ファイナンス関連製品やWeb制作関連の売上が増加いたしました。これらの増収が、投資信託の新規設定減や前年同期の消費税率改定関連特需の反動減に伴う金融商品関連製品の減収を補った結果、当第2四半期の連結売上収益は、前年同期比307百万円増（同2.2%増）の14,390百万円となりました。

利益面では、体制強化に伴う労務費・人件費が増加したほか、新型コロナウイルス感染症対策費用を新たに計上した結果、営業利益は前年同期比50百万円減（同1.8%減）の2,651百万円となりました。また、2020年7月1日付で持分法適用関連会社から連結子会社化した株式会社ディスクロージャー・プロの株式の段階取得に係る差益が計上されたことにより、税引前四半期利益は前年同期比94百万円増（同3.5%増）の2,825百万円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比84百万円増（同4.5%増）の1,956百万円となりました。

#### 1) 製品別の販売動向

##### <上場会社ディスクロージャー関連>

株主総会招集通知のカラー化による増収に加えて、開示書類作成を支援するシステムサービス・アウトソーシングサービスの増収も寄与いたしました。また、証券市場の株価回復を背景にファイナンスの受注規模が拡大したほか、大型IPOの受注により、上場会社ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比351百万円増（同5.3%増）の6,946百万円となりました。

##### <上場会社IR関連等>

コーポレートガバナンス・コードへの対応を背景として、IRサイト構築や英文翻訳サービス等の受注が増加いたしました。また、2019年10月1日付で連結子会社化した、Web制作会社の株式会社レインボー・ジャパンの売上収益も加わりました。これらの結果、上場会社IR関連等の売上収益は、前年同期比175百万円増（同5.1%増）の3,616百万円となりました。

##### <金融商品ディスクロージャー関連>

金融商品関連製品の印刷物の受注が、前年同期の消費税率改定に伴うスポット需要の反動減により減少しました。投資信託市場は、一部ファンドの新規設定が減速し、主力製品である目論見書等が減収となりました。また、市況の変化を受け外国債券関連製品も減収となりました。これらの結果、金融商品ディスクロージャー関連の売上収益は、前年同期比220百万円減（同6.3%減）の3,283百万円となりました。

##### <データベース関連>

企業情報データベース、経済・産業情報データベースともに解約を上回る新規開拓が進展しました。これらの結果、データベース関連の売上収益は前年同期並み（同0.1%増）の545百万円となりました。

## (製品区分別売上収益)

区分	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)		増減 (△印減)	
	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
上場会社ディスクロージャー関連	6,594,441	46.8	6,945,794	48.3	351,353	5.3
上場会社IR関連等	3,441,306	24.4	3,616,323	25.1	175,017	5.1
金融商品ディスクロージャー関連	3,503,194	24.9	3,283,019	22.8	△220,176	△6.3
データベース関連	544,344	3.9	544,771	3.8	427	0.1
合計	14,083,285	100.0	14,389,907	100.0	306,622	2.2

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。  
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2) 利益の概況

当第2四半期の売上収益は、金融商品ディスクロージャー関連を除く3つの製品区分において前年を上回り、307百万円の増加となりました。売上原価は、制作体制の強化及びサービスの向上に伴う労務費の増加を主因として、271百万円増加いたしました。これにより売上原価率は前年同期比0.7ポイント増の57.3%となりました。この結果、売上総利益は前年同期比35百万円増(同0.6%増)の6,150百万円となりました。一方、販売費及び一般管理費は営業体制強化に伴う人件費増や新型コロナウイルス感染症対策費用等により、前年同期比90百万円増(同2.6%増)の3,534百万円となりました。販売費及び一般管理費率は前年同期比0.1ポイント増の24.6%となりました。これらにその他の収益とその他の費用を加減した結果、営業利益は前年同期比50百万円減(同1.8%減)の2,651百万円となりました。

金融収益は受取配当金等により29百万円、金融費用は5百万円となりました。持分法による投資利益は11百万円となりました。また、株式会社ディスクロージャー・プロの株式の段階取得に係る差益が139百万円計上されました。これらの加減により、税引前四半期利益は前年同期比94百万円増(同3.5%増)の2,825百万円となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比84百万円増(同4.5%増)の1,956百万円となりました。

## ③ 第2四半期の季節性

当社グループの売上収益の約3分の2を占める事業会社向け製品・サービスは、顧客の約65%が3月決算会社であるため、決算及び株主総会関連製品の受注が第1四半期連結会計期間(4-6月期)に集中します。このため、下表のとおり第1四半期連結会計期間の売上収益が約4割を占め、第2四半期連結会計期間(7-9月期)の売上収益は2割以下にとどまります。

(参考) 2020年3月期

	第1四半期 (4-6月期)	第2四半期 (7-9月期)	第3四半期 (10-12月期)	第4四半期 (1-3月期)	年度計
売上収益 (百万円)	9,481	4,602	5,161	5,202	24,446
構成比 (%)	38.8	18.8	21.1	21.3	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,408百万円増加し35,457百万円となりました。主な要因は、現金及び現金同等物の増加2,666百万円、営業債権及びその他の債権の減少634百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ693百万円増加し11,236百万円となりました。主な要因は、契約負債の増加702百万円等であります。

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ1,715百万円増加し24,221百万円となりました。主な要因は、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,956百万円の計上による増加と剰余金の配当404百万円による減少等であります。この結果、親会社所有者帰属持分比率は、68.1%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

<当期の見通し>

2020年8月28日公表の2021年3月期通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産</b>		
流動資産		
現金及び現金同等物	11,910,898	14,577,196
営業債権及びその他の債権	2,548,657	1,914,671
その他の金融資産	2,310,915	2,215,930
棚卸資産	511,471	470,316
その他の流動資産	283,600	281,263
流動資産合計	17,565,541	19,459,376
非流動資産		
有形固定資産	4,657,122	4,675,926
使用権資産	1,988,261	1,815,450
のれん	304,485	702,240
無形資産	2,246,279	2,405,402
投資不動産	186,322	186,322
持分法で会計処理されている投資	728,142	694,337
その他の金融資産	4,233,973	4,485,552
繰延税金資産	1,078,340	967,596
その他の非流動資産	60,678	64,991
非流動資産合計	15,483,602	15,997,816
資産合計	33,049,144	35,457,193
<b>負債及び資本</b>		
負債		
流動負債		
借入金	56,672	106,672
リース負債	752,312	725,139
営業債務及びその他の債務	1,434,026	958,010
未払法人所得税等	689,136	917,455
契約負債	651,858	1,353,425
その他の流動負債	2,517,150	2,575,833
流動負債合計	6,101,154	6,636,534
非流動負債		
借入金	8,324	304,988
リース負債	1,262,247	1,131,240
退職給付に係る負債	2,523,384	2,460,318
引当金	188,201	194,167
その他の非流動負債	459,592	509,001
非流動負債合計	4,441,749	4,599,714
負債合計	10,542,902	11,236,248
資本		
資本金	3,058,651	3,058,651
資本剰余金	4,683,596	4,683,596
自己株式	△3,801,143	△3,801,332
その他の資本の構成要素	348,191	506,773
利益剰余金	18,162,035	19,714,325
親会社の所有者に帰属する持分合計	22,451,330	24,162,013
非支配持分	54,911	58,932
資本合計	22,506,241	24,220,945
負債及び資本合計	33,049,144	35,457,193

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書  
 (要約四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	14,083,285	14,389,907
売上原価	△7,968,678	△8,239,929
売上総利益	6,114,607	6,149,978
販売費及び一般管理費	△3,444,092	△3,534,377
その他の収益	33,295	40,661
その他の費用	△3,342	△5,462
営業利益	2,700,469	2,650,800
金融収益	23,629	28,543
金融費用	△5,686	△4,502
持分法による投資利益	12,083	10,924
段階取得に係る再測定による利益	—	139,122
税引前四半期利益	2,730,496	2,824,886
法人所得税費用	△856,537	△864,782
四半期利益	1,873,959	1,960,104
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,872,198	1,956,084
非支配持分	1,760	4,020
四半期利益	1,873,959	1,960,104
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	69.44	72.66
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

## (要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	1,873,959	1,960,104
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する 金融資産	85,982	155,472
純損益に振り替えられることのない項目合計	85,982	155,472
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△6,444	3,110
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△6,444	3,110
税引後その他の包括利益	79,537	158,582
四半期包括利益	1,953,496	2,118,686
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,951,736	2,114,666
非支配持分	1,760	4,020
四半期包括利益	1,953,496	2,118,686

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
2019年4月1日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,324,251	△12,249	381,514	369,265
四半期利益						—
その他の包括利益				△6,444	85,982	79,537
四半期包括利益合計	—	—	—	△6,444	85,982	79,537
自己株式の取得			△476,892			—
配当金						—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替					7,563	7,563
所有者との取引額合計	—	—	△476,892	—	7,563	7,563
2019年9月30日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,143	△18,694	475,058	456,364

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
2019年4月1日時点の残高	17,117,366	21,904,626	43,231	21,947,857
四半期利益	1,872,198	1,872,198	1,760	1,873,959
その他の包括利益		79,537		79,537
四半期包括利益合計	1,872,198	1,951,736	1,760	1,953,496
自己株式の取得		△476,892		△476,892
配当金	△409,226	△409,226		△409,226
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	△7,563	—		—
所有者との取引額合計	△416,789	△886,118	—	△886,118
2019年9月30日時点の残高	18,572,775	22,970,243	44,992	23,015,235

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

(単位：千円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素		
				在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	合計
2020年4月1日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,143	△14,370	362,561	348,191
四半期利益						—
その他の包括利益				3,110	155,472	158,582
四半期包括利益合計	—	—	—	3,110	155,472	158,582
自己株式の取得			△189			—
配当金						—
所有者との取引額合計	—	—	△189	—	—	—
2020年9月30日時点の残高	3,058,651	4,683,596	△3,801,332	△11,260	518,033	506,773

	親会社の所有者に帰属する持分		非支配持分	合計
	利益剰余金	合計		
2020年4月1日時点の残高	18,162,035	22,451,330	54,911	22,506,241
四半期利益	1,956,084	1,956,084	4,020	1,960,104
その他の包括利益		158,582	0	158,582
四半期包括利益合計	1,956,084	2,114,666	4,020	2,118,686
自己株式の取得		△189		△189
配当金	△403,793	△403,793		△403,793
所有者との取引額合計	△403,793	△403,982	—	△403,982
2020年9月30日時点の残高	19,714,325	24,162,013	58,932	24,220,945

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。